

## 『モールセーフについて』

モールセーフは、内装材の表面に直接塗布して、カビの発生を防止する防カビ剤です。主成分のアルコールに2種類の有効薬剤を添付することで、多種類のカビを防止します。有効薬剤は建材の表面に配置されるため、高い防カビ性を維持しながら、クロスや塗装面などの内装仕上げ材を含む、ほとんどすべての内装材・建材に塗布することができます。お取扱いにあたり、下記の注意事項をよく読み、理解してから、ご使用ください。

### [成分]

- ・ 複素環式有機化合物とアルコールの混合物

### [形式]

- ・ 小缶（0.8kg）と大缶（16.0kg）の2種類。

### [使用例]

- ・ カビの発生が心配される梅雨時期を前に、予防措置として石膏ボードやケイカル板等に塗布する。
- ・ 塗装やクロス材等で内装仕上げを施した壁に、防カビ処置として、直接塗布する。
- ・ 地下の二重壁に、防カビ処理として、直接塗布する。
- ・ リニューアル工事における防カビ対策として、壁や天井に直接塗布する。
- ・ 特にカビを嫌う美術館や製薬工場などの防カビ対策として、塗布する。

### [使用方法]

#### ① 下地の確認と試験施工

- (1) 既存のカビを除去してください。
- (2) 外部などの水に濡れる場所、常に結露する場所では使用できません。
- (3) 濃色の素地や金属・プラスチックは白色化する可能性があります。目立たない場所で塗布するなどの試験施工を行い、塗布後の建材の異常を確認してください。

#### ② 施工範囲の確認

- (1) 作業員以外の立ち入り禁止を実施してください。
- (2) 周囲の火気を確認し、火気厳禁を実施してください。

#### ③ 養生・換気の確認

- (1) 換気がされているか、換気装置が設置されているかを確認し、換気を実施してください。
- (2) 換気・排気により、近隣等の第三者に影響がないかを確認してください。

#### ④ 施工

- (1) 容器がよく密閉されていることを確認し、容器ごとよく振ってください。
- (2) 刷毛・ローラー等で塗り残しが無いように均一に塗布してください。

[塗布量の目安] 100グラム～200グラム/㎡(1度～2度塗り)

- ・ 塗布量の目安：小缶(0.8kg)4㎡～8㎡、大缶(16kg)80㎡～160㎡。

[塗布回数目安]

- ・ 1度～2度塗りをお薦めします。

[性能の目安]

- ・ 性能は施工法・素材・環境等により変化するため、効果や効果期間を保証するものではありません。

[安全対策]

- ・ 換気の良い場所か換気設備を施した場所で使用してください。
- ・ 火気厳禁とし、着火源を遠ざけてください。
- ・ 適切な保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）及び作業衣を着用して使用してください。
- ・ 妊娠中・授乳期中の使用や接触はおやめください。
- ・ その他の安全対策・応急措置については、別添の安全データシート（SDS）を必ずお読みください。

[保管]

- ・ 火気厳禁としてください。
- ・ 容器は密閉してください。
- ・ 直射日光を避け、換気の良い場所で保管してください。
- ・ 幼児やペットなどの手の届かないところで保管してください。
- ・ 0℃以下または40℃以上になる場所には保管しないでください。

[漏出した場合]

- ・ すべての着火源を取り除き、速やかに換気を行ってください。
- ・ 多量の場合は、可能なかぎりせき止めし、ポンプなどで回収してください。
- ・ 少量の場合は、砂・ウェス等で吸収し、密閉容器に回収してください。

[廃棄]

- ・ 余った残量は、おがくず・珪藻土などに吸収させて、法規に基づき、行政が認定した焼却炉で少量ずつ焼却してください。
- ・ 内容物および容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。

## \*注意

「取扱説明書」は、ご使用者に安全な取扱いをしていただくための参考情報として、提供されるものです。取扱いには、上記を参考として、自らの責任において、個々の実態に応じた適切な処置を講じてください。施工法・素材・環境等によって変動するため、性能や安全を保証するものではありません。